

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 15日

事業所名 nicoすてっぷ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	6	0	完全なバリアフリーではないが、配慮はされている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6	0	0	ミーティングの時間を確保し業務改善に取り組んでいる。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0		令和4年度よりホームページで公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	0		第三者による評価を今後検討していく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	研修に参加できるよう配慮している。		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	保護者や本人の要望を聞き取り、よりよい計画を立てられるようにしている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	利用者の様子を見ながら話し合っ決めて決めている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	楽しみながら取り組める活動を考慮している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	・長期休暇は利用時間が長いので、イベントなどを行っている。 ・季節に合わせた活動を取り入れている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	不登校の子どもも受け入れているので、個別から集団への移行の中に半個別支援を取り入れている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	当日の利用者、送迎、活動内容について確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	当日の利用者の様子について報連相を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	業務日誌・支援記録を記入し利用者の気になることを共有している。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	0	ガイドラインに沿ったバランスのよい活動内容となるようにしている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	児童発達管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	学校の行事予定をもらい、下校時刻を確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5	0		設備が整っていないため、医療的ケアが必要な利用者の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	6	0		相談員からの情報のみで、他事業とは連携がとれていない。必要に応じて働きかけていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	6	0		今後、必要に応じて連携をとっていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6		コロナ禍なので、他との交流は控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	2		今後必要に応じて参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	・連絡帳アプリを利用し、活動の様子を写真や文章で伝えている。 ・送迎の際、様子を伝え合っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	0	保護者から相談を受けた際は助言する。	職員ももっと勉強する必要がある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	・契約時に運営規定について説明している。 ・支援内容はモニタリングの際にも説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	相談があった際は迅速に対応するようにしている。	日頃より相談しやすい雰囲気を作っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	4		コロナ禍なので控えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情対応の体制は整備している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	会報は発行せず、連絡ツールアプリで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	口頭だけでなく紙面や連絡帳アプリなどでも知らせるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	1		コロナ禍のためできていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	各種マニュアルを作成し、契約の際に説明をしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	6	0		今後必要な場合は、支援計画に記載し保護者への説明・了解・記録を行っていくようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	おやつ提供の際、成分を確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハット・事故報告を作成し、共有している。	